

# アプリ開発の基本方針（案）

## <関係者ヒア・協議会・プレラボにおける主な意見>

- ・使用頻度の高いアプリにするには**網羅性のあるコンテンツ**や**定期的な更新**が必要（関係者ヒア・協議会意見）
- ・**利用者層によって使いやすいUI**が異なるので、デザイン等に工夫が必要（関係者ヒア）
- ・類似サイトの中で埋没しないよう、**ここでしか得られない情報を発信**することが重要（プレラボ・協議会意見）
- ・情報の価値を高めるには、**ストーリーに沿って情報が編集**されていることが重要（プレラボ・協議会意見）
- ・アプリ開発・運営への学生の参加など**大学教育との連携**は独自性を出すうえで重要（協議会意見）
- ・ビジネス展開を含め、**システムが継続できる仕組み**を考慮しておくことが必要（協議会意見）
- ・**インシャル・ランニングコストを抑える工夫**が必要（協議会意見）

## 【情報発信のポイント】

- ▶ **情報の網羅性**：各方面の情報をワンストップで一通り入手できる
- ▶ **情報の鮮度**：常に最新の情報が更新されている
- ▶ **差別化された情報**：他には無い高付加価値な情報が入手できる
- ▶ **利便性の高いUI**：誰でも欲しい情報に簡単にアクセスできる

## <アプリ運営上の条件>

- ・地元主体の運営管理  
(**限られた運営予算**)

## ◆基本方針（案）

- ① **多方面の情報を網羅**（既存の情報源との連携 等）
- ② **最新情報の頻繁なアップデート**（スクレイピング、地元精通した運営者 等）
- ③ **ローカル情報の受信・編集・発信**（参加型掲示板、登録キュレーター 等）
- ④ **利用者に優しいUI**（プッシュ通知、レコメンド機能 等）
- ⑤ **ランニングコストの抑制**（手間のかからないシステム、地元企業の広告掲出 等）

# 主なターゲットと対象エリア

## 主なターゲット

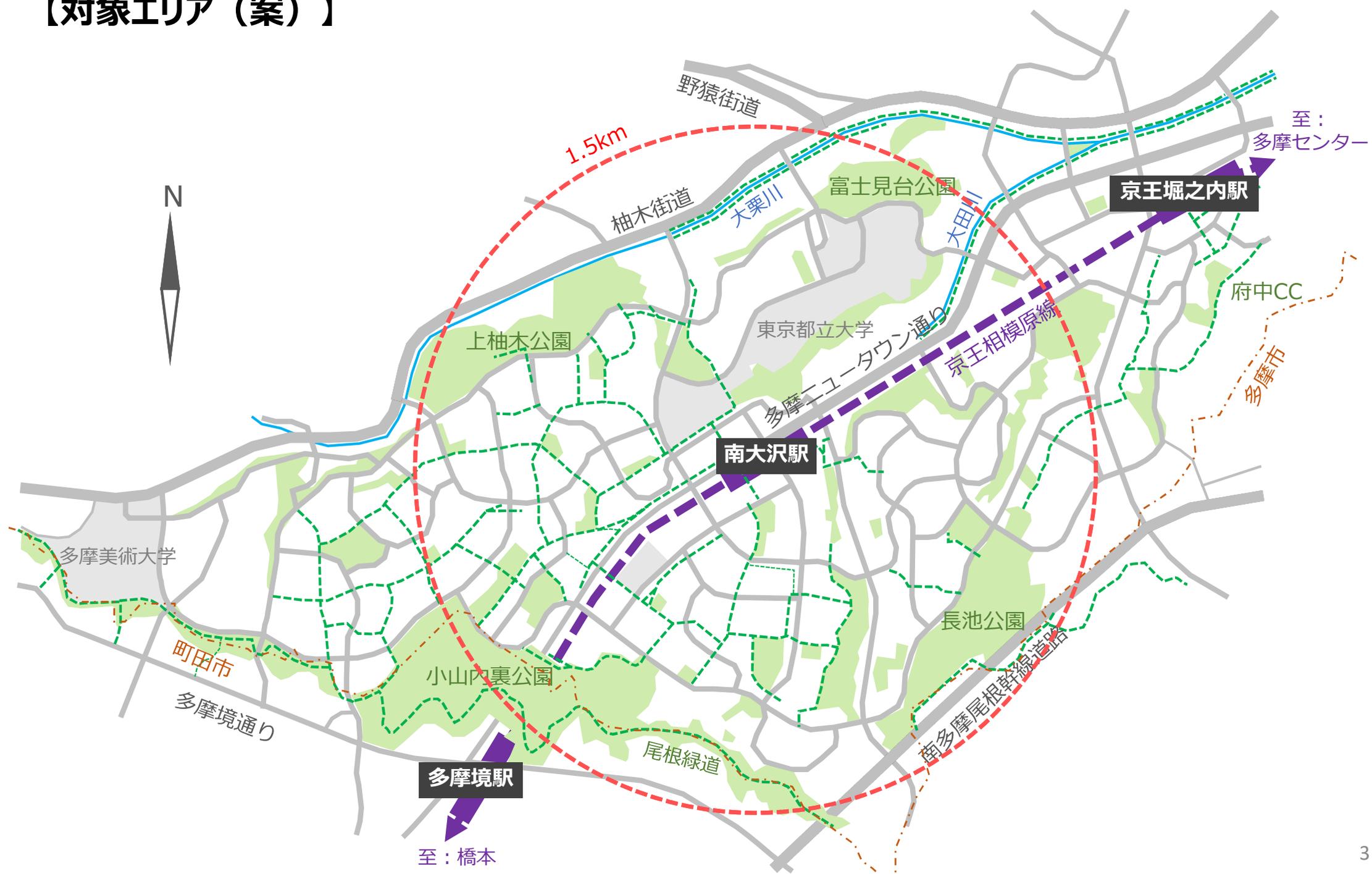
事務局案	➤ <b>地域住民・学生を主なターゲット</b> として、濃度の高い地域情報を集積し、 <b>アプリの高付加価値化</b> を図ることで、幅広いターゲットにもリーチできる <b>発信力を高めていく</b>
関係者の主な意見	【関係者ヒア・プレラボにおける主な意見】 <ul style="list-style-type: none"><li>・毎日南大沢に関わる<b>地域住民・学生</b>がコアなターゲットではないか（プレラボ意見）</li><li>・商業の観点からは、<b>幅広いターゲット</b>が望ましい（プレラボ・協議会意見）</li><li>・アプリに関しては、シニア層よりも<b>学生やファミリー層の方が慣れている</b>（プレラボ意見）</li></ul>

## 対象エリア

事務局案	➤ <b>南大沢駅から1.5km程度</b> を目安に、人の移動の区切りとなる <b>地形地物を考慮</b> ＜概ね以下を想定：次ページ参照＞ <ul style="list-style-type: none"><li>南：町田市境・南多摩尾根幹線道路</li><li>北：由木街道・大栗川</li><li>東：多摩市境・府中CC</li><li>西：尾根緑道・多摩境通り</li></ul> ※ただし、今後のアプリの拡張性（特に多摩ニュータウンエリアへの拡大など）や他のサイト等との連携も考慮
関係者の主な意見	【スマートシティの範囲】 <ul style="list-style-type: none"><li>・<b>南大沢駅から1.5km程度</b>の範囲</li></ul> 【関係者ヒア・プレラボにおける主な意見】 <ul style="list-style-type: none"><li>・人が<b>自転車等で移動できる範囲</b>がよい（プレラボ意見）</li></ul>

# 対象エリア

## 【対象エリア（案）】



# 主なコンテンツと情報源

## 主なコンテンツ・機能

### 事務局案

- 多方面の情報を網羅するとともに、ニッチでローカルな情報を併せて発信し、これらの個別情報をストーリーに沿って関連付け、情報の高付加価値化を図る
- 開発・管理コストも踏まえ、マッチング機能やインセンティブ付与機能なども検討

### 関係者の 主な意見

#### 【関係者ヒア・プレラボにおける主な意見】

- ・モビリティ、グルメ、セール、観光・施設情報など網羅性のあるコンテンツが必要（関係者ヒア）
- ・ニッチでローカルな情報を、ストーリーに沿って魅力的に発信できるといい（プレラボ・協議会）
- ・ビジネス、ボランティア、研究をマッチングし、課題解決や街を育てる機能が欲しい（関係者ヒア）
- ・クーポン・ポイントなどの利用インセンティブがあるといい（関係者ヒア）
- ・運用者のシステム連携を見据えシステムに柔軟性・移転性を持たせる（関係者ヒア）

## 情報源・発信者

### 事務局案

- 各方面の情報は既存サイト等と連携・連動し、ローカル情報については地元の利用者や事業者、学生等が参加・投稿できるようにするとともに、これらの情報を編集し高付加価値化できる地域のキュレーターを発掘する

### 関係者の 主な意見

#### 【関係者ヒア・プレラボにおける主な意見】

- ・住民発信のコンテンツも掲載できるといい（関係者ヒア）
- ・学生の参加など大学教育との連携は独自性を出すうえで重要（協議会意見）
- ・利用者・地域事業者が利用するメリットを持たせ持続性を確保（関係者ヒア・協議会）
- ・有力なコンテンツやストーリーを創り出せる作成者を見つけることも重要（プレラボ）
- ・コンテンツの作成・編集が継続するような仕組みを構築することが望ましい（プレラボ・協議会）
- ・コスト圧縮には、既存のアプリ、システム、コンテンツの有効活用が必要（関係者ヒア・協議会）

# UI・UXと運営方法

## UI・UX

### 事務局案

- サイトの鮮度を印象付けるために、ランディングページには**新着情報をメイン**に掲示するとともに、各方面の情報にアクセスするための**メニュー**を設置
- **3クリック程度**で目的情報に到達できるようカテゴリー・階層を工夫
- 場所や日時が特定されるコンテンツについては、**マップ**と**イベントカレンダー**にもリンク
- ローカル情報をベースにキュレーターが編集した**ストーリーコンテンツ**も発信
- 各方面の**外部サイトへのリンクを確保**（モビリティ予約、施設利用 等）
- 開発・管理コストも踏まえ、**プッシュ通知**や**レコメンド機能**も検討

### 関係者の 主な意見

- 【関係者ヒア・プレラボにおける主な意見】
- ・イベントの開催が時系列的にわかる**イベントカレンダー**があるといい（関係者ヒア）
  - ・地域住民をメインターゲットとする場合、**プッシュ通知**は採用すべき（プレラボ）
  - ・**施設利用の手続き**がワンストップでできるといい（関係者ヒア）

## 運営方法

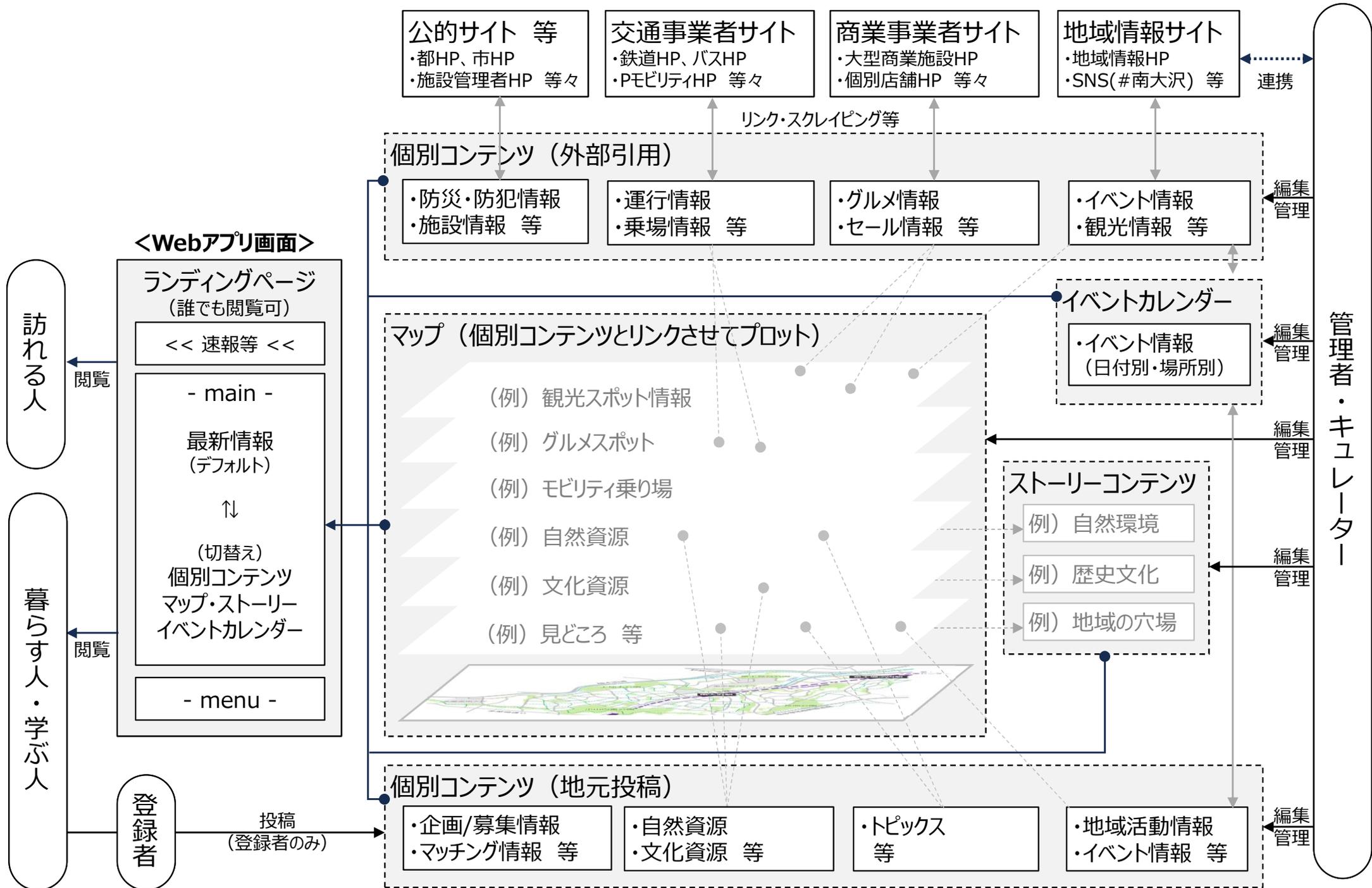
### 事務局案

- **既存サイトとの連動**や、**地元参加によるローカル情報**の提供などを積極的に活用し、運営コストを抑えながら、独自性のあるコンテンツを提供
- 地元住民を中心にユーザーを増やしながら、一定程度のPV数を確保できた段階で、**地元企業の広告掲載等によりマネタイズ化**を図る

### 関係者の 主な意見

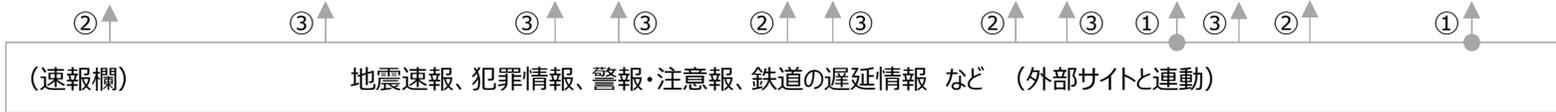
- 【関係者ヒア・プレラボにおける主な意見】
- ・既存アプリやシステムを活用した**ライトな業務委託**でコストを抑えられる（プレラボ・協議会）
  - ・人々が**情報発信したくなるようなインセンティブ**を設計することも一案（プレラボ）
  - ・**地域事業者の広告をコンテンツと関連させて掲載**しマネタイズ化を図る（プレラボ・協議会）

# アプリの全体構成イメージ（発信者 → ユーザー）（案）

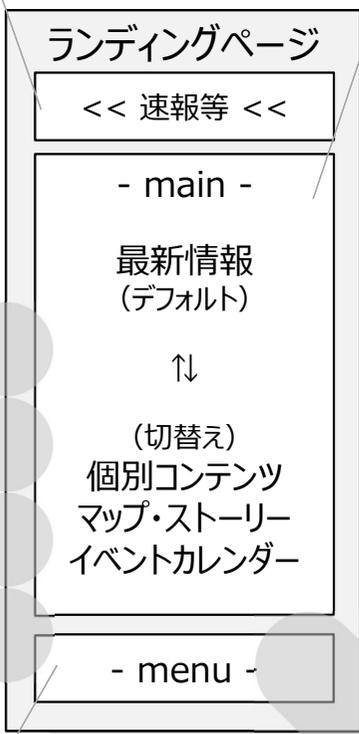


# アプリの全体構成イメージ（ユーザー → 情報）（案）

(外部サイト)



防災情報、運行情報など速達性が求められる情報を文字スクロールで通知  
 (クリックで詳細を表示)  
 鮮度を印象付けるよう最新情報を表示 (デフォルト)  
 (操作により表示内容を切替え)



親指操作しやすいよう画面下部にメニューを表示 (大カテゴリー単位)  
 (固定表示→クリックで詳細をmainに表示)

